

きっとワクワクしが

06号
新春号
'18.1.10
KIT同窓会滋



湖国も新しい年を迎えました。われら滋賀支部は、ことし創設3年目を迎えます。輝かしい新春に際し、今年の夢を思い、その歩みを始めましょう。昨年、関係者の早くからの綿密な準備と、多くのみなさまと遠くからも是非という熱い思いにも関わらず、台風接近のため中止した企画事業「堅田湖族の郷」見学会、もう一度しきり直して、今春 4月15日(日)に開催します。乞うご期待です。また、隔月ごと理事による支部運営活動、多くの支部関係者による同窓会本部支援活動など、今年もさらに充実させていきましょう。われわれは、同窓会活動を通じて、滋賀のよさ・見どころを再度見直したり、変わりつつある母校の応援団として、ひとり一人のゆたかな生き方を実現していこうとしています。そのために、いろんなところで活躍する仲間から情報をえたり、その現場を訪れたりするチャンスを、もっと、多く作っていきましょう。そんな活動に、参加も含め、一人でも多くのみなさま方が参画し、自身の充実したワクワク感のある日々にしていこうではありませんか。ともに、今年も楽しんでやっていきましょう。

2018年度 主な計画

- 1) 総会開催 平成29年度 4月15日、平成30年度 今秋 目標
- 2) 企画事業 湖国のよさ見直し活動：堅田湖族の郷見学会 4月15日
社会貢献活動、母校支援寄付活動 など 目標
- 3) 広報活動 「きっとワクワクしが」発行
- 4) 同窓会本部参画活動 理事会、各種部会、委員会への参加・支援、同窓会費納付UP
- 5) 理事会活動 以上の事業活動および若手会員への勧誘活動

支部理事会 お知らせ

1. 藤原理事退任

支部設立準備時から長年ご尽力いただいてきた藤原理事は、ご高齢により、昨秋、退任されました。お疲れさまでした。今後とも、健康の許す範囲で、支部行事にご参加ください。

2. 理事会開催予定

2月24日（土）本年度第1回理事会が山科駅前喫茶店「SUNNY」で開催されます

本部情報

今、同窓会が面白い、その動きに目がはなせない

支部会員である山崎達夫氏（養蚕S35卒）が一昨年同窓会長になられ、改革を進めてこられました。京都工芸繊維大学同窓会活動が大きく変わろうとしています。母校が法人化して10年、それに対応して、大きく変革する同窓会本部の動向を、新設された支部・部会長会議や各種部会からえた情報としてお知らせします。今年の総会で審議、決定の予定になっています。

1. 組織が大きく変わります。

- ①今まで総会は、各学科卒業年次ごとの代表で構成されていましたが、代議員制になります。その代議員は近畿支部など地域支部、県支部、衣笠同窓会や千花会などの学科・課程の同窓組織、クラブや同好会など、その活動母体人数に応じた配分数で選出されます。総勢50人となりそうです。そして、会費納入している卒業生を正会員とし、総会での議決権をもちます。
- ②総会の下部組織で、執行機関である理事会はその規模を縮小され20人ほどになり、そのうち7人以内で常任理事会を構成し、日常の事業運営を担当します。理事も、各団体から総会代議員同様に選任されます。
- ③常任理事会の下部組織として、理事による4つの常設部会（総務、企画・戦略、組織、広報・情報）が設置され、具体的な事業の企画・運営・評価検証を行います。
- ④支部や各団体、部会の意見は、支部・部会長会議で集約されるよう、昨年、12月2日に第1回が開催、そこで組織変革のあり方と今後の予定が説明され、質疑応答されました。
- ⑤今まで、大学との交流が十分でなく、双方の思いが伝わらない面がありました。今回、大学の代表者と同窓会正副会長らによる定期的な連絡協議会が設置されました。大学の法人化で、ますます同窓会との協調による、事業展開やグローバル化、学生ニーズの多様化に対応していく体制ができると期待されることです。
- ⑥これら常任理事会、支部・部会長会議、大学・同窓会連絡協議会を統括する正副会長会があり、それを補佐する事務局も強化されることとなります。今、来年度からの完全実施に向け移行中。

2. 同窓会HPが充実しました

昨秋より、同窓会HPが大きく変わりました。大学や学生・卒業生の最近の様子、同窓会本部の動きはもちろんのこと、支部活動、クラブ活動、同級会などの活動がアップデートに掲載されています。滋賀支部のお知らせなども「支部活動」欄にでています。ぜひ見てください。この大変な任務を、常設の広報・情報部長として担当していただいているのが当支部理事で元副学長の森本一成氏です。同窓の活躍等の関連新聞情報などの提供、よろしくお願いしま

3. 衣笠同窓会が変わります

- ①以前、衣笠同窓会として会誌発行や支部活動支援など、本部活動がなされてきましたが、今後、その活動がなくなります。支部やクラス会など、京都工芸繊維大学同窓会の部会「衣笠同窓会」の下部組織としての位置づけで、続けていただくこととなります。
- ②保有してきた資産は、衣笠同窓会「みらい基金」として、新たに設置した運営機関により、その活用含め、管理される予定です。そのやり方の細部を、規約作成も含め、現在、基金運営準備委員会で検討中です。支部長もその一員になっています。今年の6月に開催予定の総会で、最終決定の予定です。